

この度は、Journal of Forest Research に投稿されたデータペーパー原稿“Data Notes”の査読をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。査読をお願いするにあたり、本誌 Data Notes の審査方針について説明させていただきます。

なお、本審査方針は、オープンデータの適切な公開方法を表現した原則の一つである FAIR 原則「Findable（見つけられる）、Accessible（アクセスできる）、Interoperable（相互運用できる）、Reusable（再利用できる）」に基づいています。FAIR 原則の詳細については、以下のサイトを参照してください。

<https://biosciencedbc.jp/about-us/report/fair-data-principle/>

1. スコープ

本誌のスコープは以下の通りです。

Journal of Forest Research publishes original articles, reviews, short communications, and data notes. It covers all aspects of forest research, both basic and applied, with the aim of encouraging international communication between scientists in different fields who share a common interest in forest science.

2. 審査方針

本誌 Data Note では、

- ① 分野 (field) の適切さ
- ② データの有効性(validity)、
- ③ データの信頼性(reliability)
- ④ データの再利用可能性 (reusability)、
- ⑤ 記述の論理性 (logicality)

の視点で審査を行います。

学術原稿としての質を担保しつつ、森林および森林管理に関する貴重なデータをできるだけ多く掲載していくために、以下の判定基準（■で示した査読項目）を基本に厳正な審査をお願いいたします。なお、原稿受付時にデータが汎用リポジトリに格納されているかどうかは編集事務局で確認します。

① 分野 (field) の適切さ：

■内容が JFR スコープに合致しているか？

編集委員が事前に判断し、合致しない場合は査読に回さないようにしておりますが、もし査読原稿がスコープに合致しないと判断される場合は、その旨コメントいただければと思います。

②データの有効性 (Validity):

■データが森林・林業研究の発展、あるいは森林管理に役立つものであるか？

分野の性質上、有効性の範囲が限られる場合もあることをご了解の上、評価いただければと思います。本誌は国際誌ですので、掲載論文は海外読者が興味を持てるデータであることが望まれます。しかしながら、特に野外科学のデータは、多くの場合どうしても調査・観測対象が一部の地域等に限定されます。したがって、特定地域の調査・観測事例であることのみをもってデータの有効性を低く評価しすぎないようにご配慮ください。また、一定の国際性を有していれば、国内事例であっても積極的に掲載する方向でご審査ください。逆に、重要なケーススタディである場合も、データが当該分野の海外読者の興味に資するものであるか、また、そのことが海外文献を含めた十分なレビューに基づいてしっかり記述されているかについては、厳正に要求していただければと思います。

③データの信頼性 (Reliability):

■データ取得の方法が適切であるか？

データ取得の方法が適切かどうかは Data Notes として掲載するうえで重要な項目ですので、厳正にご審査ください。

■データの品質 (data quality) に関する情報が“Dataset validation”に示されているか？

データの散布度や誤差などデータの品質に関する情報が“Dataset validation”に含まれているか確認してください。

④データの再利用可能性 (Reusability):

■データを利用するために必要な情報の記述が完全であるか？

他者がこのデータを利用するために必要な全ての情報が含まれているか確認してください。

■原稿の記述内容と実際のデータが一致しているか？

汎用リポジトリに格納されているデータを閲覧いただき、原稿の記述内容と実際のデータが一致しているか確認してください。

⑤記述の論理性 (logicality):

■論旨の展開が明快で、記述も簡潔明瞭であるか？

学術原稿として掲載するうえで重要な項目ですので、厳正にご審査ください。

3. その他の留意事項

査読に当たりましては、下記の点にご留意いただきますようお願いいたします。

- 1) 査読コメントは英語で作成してください。仮に著者が日本人のみであっても、別の査読者や担当委員が日本語を理解できない場合もあることをご理解ください。
- 2) 査読意見は、総合的なご意見と具体的修正意見とに分けてご指摘下さい。
- 3) 修正等のご意見は、第1回目の査読で全てご指摘下さい。書き直しても掲載の可能性がない場合は、はじめから却下の判定をお願いします。

- 4) 複数の査読者ならびに担当委員の意見をもとに最終判定しますので、掲載の可否は当委員会にお任せ下さい。また、リジェクトのご意見をいただいた場合も、担当委員の判断により修正・再審査となった場合は、修正後の原稿の再審査をお願いする場合がありますことをご了承ください。
- 5) 英文につきましては最終的に専門家による校閲がありますが、英文が甚だ不備で審査が困難な場合は、そのままご返送下さい。

以上